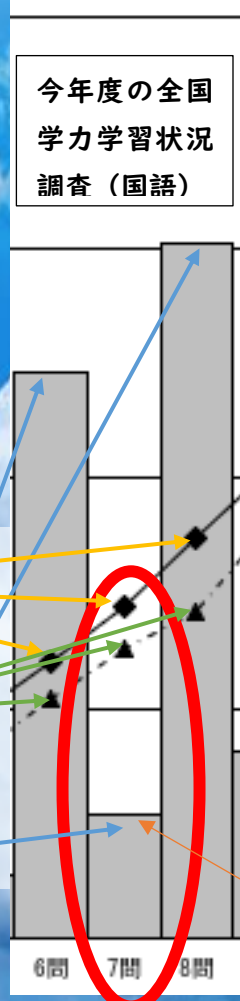


10 分間の講話で一生懸命考えてくれました



27日の朝、意欲を持って取り組むこと、失敗をくり返して成長へとつながっていくこと、日常のきまり（金武小5つのちかい・一事徹底等）について10分間の校長講話を行いました。一年生〜六年生という発達段階のもと、講話後の感想にこちらの意図したことが書かれてあると、とても嬉しく思います。

今回は、講話の感想を書くとき、左のグラフから見られるように、本校の課題（接続語を使って二段落に分けて書く）も取り入れられました。

全国平均

沖縄県の平均

金武小

正答率は『くくむ』（金武町教育委員会広報）発表後に、ここでは、本校の国語は全国平均を1.2%上回ったことをお知らせします。

6年1組22番 名前 比嘉真子

今日の語でわかったことは、みんなわかってるのにできないというのは、自分で頭のシナプスを止めているからだということです。赤ちゃんのようにシナプスがつながっていると、いろいろなことに失敗しなからず、挑戦するようになることもわかりました。そこでいろいろなことに失敗しなからず挑戦し続けるようにします。

1年2組18番 名前 ながた りん

なつぎせんせいははなしをじょうりやくにきくとおともだちにやさしくしたいです。もくろをかんはつたい。みんなとながよくしたい。おんせんぎのとききれいなせいできれいなじでかきたい。じゅだいのとき、いっばいおしべつしないことをかんはつたい。

高学年では、2つの文を、「そこで」という接続語でつなぐように指示しています。低学年は自由ですが、挑戦している児童もいました。

6年2組18番 名前 名峰 心希

すくすく成長するためには、好きじや人のまねをしてみることが大事だと思ふ。そして、チャイルド痛などのまねをゆると、すくすく成長すると思ふ。赤ちゃんも親見の2足ほこの姿に好きじをもち、あつてなうになった。そこで自分でやるといふじと、人のまねをしていたらだいにみだつと思ふ。

3年2組6番 名前 いけはら けいた

はくこうちよう先生のはなしをきいてあかちゃんかみんなはせいはてきるじかりました。そこででなれじやなてやてからでなれじにら何回をくりかえすじのうがまか。